

鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学研究科 医療科学専攻 臨床検査学分野に
「細胞検査士養成コース」を2020年4月に開設予定。



鈴鹿医療科学大学大学院では、中部地区の大学院として初の「細胞検査士養成コース」の開設を2020年4月に予定しています。

本学は「めざす資格を確実に取得する」ことを目標に、学部では臨床検査技師国家資格、大学院では細胞検査士認定資格の取得に必要なカリキュラムを展開します。

大学院では、細胞検査士に必要な高度専門教育である細胞診断学特論並びに細胞診断学実習、さらには提携先病院での病理・細胞診臨床実習等を行います。

本学は、堅実な教育方針に基づいて、学生の夢を、一步一步、着実に実現できるよう丁寧に支援します。

高校生の皆さんへ

—学部（4年間）で臨床検査技師の国家資格取得を確実に目指してください—

この分野の資格は中途半端な学習では取得することは非常に困難です。まずは「保健衛生学部 医療栄養学科 臨床検査学専攻」に入学し、4年間で確実に臨床検査技師の国家資格を取得することを目標に勉学に励んで頂くことをお勧めします。

何故なら、細胞検査士は臨床検査技師の上級職にあたり、細胞検査士の資格を取得するには臨床検査技師の国家資格を取得していることが条件であります(臨床検査技師の全国平均の合格率79.3%(2017年度))。そのため、細胞検査士の資格認定試験に合格しても、その後に実施される臨床検査技師の国家試験に合格できなければ、その時点で細胞検査士の資格認定試験の合格は取り消しになるからです(細胞検査士の全国平均の合格率38.1%(2017年度))。

まずは、本学保健衛生学部 医療栄養学科 臨床検査学専攻に入学し臨床検査技師を目指してください。

社会人(臨床検査)の皆様へ

細胞検査士資格認定試験の受験資格として、臨床検査技師として主として細胞診検査の実務に1年以上従事した者であることとされています。本学大学院では細胞検査士の資格を働きながら取得して頂くことを目的に教育します。近年は、社会人を対象に大学院の門戸は大きく開かれており、社会人大学院生が年々増えつつあります。大学院卒業時には、修士の学位に加え、細胞検査士の資格取得が可能となります。

また、「科目等履修生」として、細胞検査士養成のための教科を受講することも可能にする予定です。

臨床検査技師 国家試験合格率推移(平均)

	第64回(2017年度)	第63回(2016年度)	第62回(2015年度)	第61回(2014年度)
本学	91.3%	95.6%	91.2%	100%
全国全体	79.3%	78.7%	76.4%	82.1%

細胞検査士 資格試験合格率推移(平均)

	第50回(2017年度)	第49回(2016年度)	第48回(2015年度)	第47回(2014年度)
全国全体	38.1%	25.7%	31.5%	40.1%

細胞検査士とは？

細胞検査士は、公益社団法人日本臨床細胞学会が細胞検査に関する高度な専門能力を有する臨床検査技師に認定する資格です。

国立がん研究センターによると、日本人の2人に1人は一生のうちに何らかの「がん」にかかると言われており、がんはすべての人にとって身近な病気です。細胞検査士は、体内からの喀痰、尿、婦人科材料等から、がん細胞や前がん病変の異型細胞をいち早く見つけ出し、がんの早期発見、早期治療に繋がります。

鈴鹿医療科学大学
学長 豊田 長康